

第5回

参加費無料・同時通訳あり

内分泌攪乱化学物質 (いわゆる環境ホルモン) 問題に関する国際シンポジウム

主催/環境省
 後援/広島県、広島市
 協力/環境ホルモン学会
 (正式名:
 日本内分泌攪乱化学物質学会)

日時/2002年11月26日(火) 13:00~18:00 (受付開始12:00)

会場/広島国際会議場(平和記念公園内) 〒730-0811 広島市中区中島町1-5 TEL:082-242-7777

プログラム概要

県民、市民のみなさんに広く参加いただくためのプログラムとして、特別講演、内分泌攪乱化学物質(いわゆる環境ホルモン)問題に関する国内外における取組の現状の報告及びパネルディスカッションを行います。

▼ 開会挨拶 13:00-13:30

・主催者挨拶 ・来賓挨拶

▼ 特別講演 13:30-14:30

化学物質による子供への健康影響の研究に従事し、我が国の生殖医療のパイオニアとしても知られる東京大学医学部産科婦人科学教室・堤教授にご講演いただきます。

講演予定者

堤 治(東京大学医学部産科婦人科学教室)

▼ 取組の現状 14:30-16:00

国内外で取り組まれている内分泌攪乱化学物質問題について、その対策の現状と動向についてご紹介いただきます。

参加予定者の
所属機関/組織

OECD(経済協力開発機構)

WHO(世界保健機関)

EU(欧州連合)

EPA(米国環境保護庁)

ICCVAM(米国・動物実験代替法に関する多省庁の共同検討組織(仮訳))

日本・環境省

▼ パネルディスカッション 「環境リスクコミュニケーション」 16:15-18:00

各方面の関係者が一堂に会し、内分泌攪乱化学物質問題等に関する環境リスクコミュニケーションのあり方や子供たちへの環境教育等について意見交換を行い、問題の理解を深める機会とします。

座長/小出 五郎
(NHK・大妻女子大学)

予定パネリスト

井口 泰泉(岡崎国立共同研究機構)

岩本 公宏(三井化学株式会社)

崎田 裕子(ジャーナリスト・環境カウンセラー)

遠藤 恵子(広島市立山本小学校)

安達 一彦(環境省)

▼ 参加申し込み(参加費無料)

参加を希望する方は、氏名、所属、住所、電話、FAX番号、E-mailアドレス、参加希望日を明記の上、E-mailかFAX、もしくはハガキで下記事務局宛にお申込みください。11月以降に参加登録証を発送いたします。

参加申し込み・お問合せ先

株式会社コングレ内

「内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム」事務局

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1

弘済会館ビル6F(株)コングレ内

TEL: 03-3263-5394 FAX: 03-5216-3115 E-mail: eed02@congre.co.jp

参加申し込み締め切り: 平成14年11月10日(日) 必着

シンポジウムの内容に関するお問い合わせ

環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課

〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2

TEL: 03-3581-3351(内線6354) FAX: 03-3580-3596

E-mail: ehs@env.go.jp

▼ 会場のご案内(平和記念公園内)

